

平成30年度事業報告

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

I. 財務報告

- 平成30年度の日本経済は好調な米国経済を背景に総じて堅調な景気で推移しましたが、米国・中国の貿易摩擦の激化や米国金融政策の動向から先々の景気が不透明な一年となりました。当財団の財務状況は基本財産運用収入の主となるヨネックス株式会社の株式配当金は計画通り3,000万円(予算比100%)を得ましたが、外債・国債の利息収入は豪ドル安円高の為替により1,400万円(予算比88%)の減収になり、経常収益合計4,400万円(予算比94%)となりました。
 - このような収益状況の中、事業活動支出は数年間累積していた遊休財産を活用し、助成・奨学・表彰の3事業費合計4,260万円(予算比98%)・業務費329万円(予算比94%)、経常費用合計4,590万円(予算比98%)で概ね計画通り執行しました。
以下、事業別にご報告申し上げます。収支決算書は別紙をご参照ください。

II. 事業別実績

1. 助成事業

- 2020東京オリンピック・パラリンピックおよび2022北京冬季オリンピック・パラリンピックに向け、対象競技種目に該当している強化事業と他競技においても有望なジュニア選手の育成や普及事業に重点を置いて選考致しました。その結果、交付申請221件中65事業に対し助成金実績2,622万円(予算比90%：返金49万円を含む)の支給となりました。
*資料2-3～6【助成事業実績】

2. 奨学事業

- 奨学金は2020東京オリンピック・パラリンピックの開催が近づく中、該当競技や他種目競技においてもトップアスリーの強化および指導者育成を図るべく選考致しました。その結果、奨学金申請247名中22名(高校生9名・大学生12名・大学院生1名)に対し奨学金実績1,224万円(予算比117%)を給与しました。
*資料2-7【奨学事業実績】

3. 表彰事業

- 平成29年度米山稔賞は申請件数3件中2件を表彰しました。
 - 2018平昌冬季オリンピックのスピードスケート競技で当財団の奨学生で金メダルを獲得した高木美帆・小平奈緒選手を指導したデヴィット・ヨハン氏と結城匡啓氏(公財)日本スケート連盟コーチ)
 - 躍進著しいバドミントン競技においてその礎となる明確な選考・強化方法を確立した木戸純一氏・梅野尾昌一氏(元日本バドミントン協会)以上の2組4名に対し、平成30年6月15日に帝国ホテル東京にて表彰しその費用実績414万円(予算比103%)となりました。

平成 30 年度の表彰は審査委員会において審査の結果、別紙のとおり決定いたしました。

*資料 2-8 【表彰事業】

4. 個人情報の取り扱いについて

当財団は個人情報取り扱い事業者には該当いたしません。個人情報保護法の制定に伴い、個人情報の保護及び安全管理措置、従業員の監督等はヨネックス株式会社の個人情報保護規定（平成 17 年 3 月 25 日制定）に準拠して取り扱っております。

【助成事業実績】

	申請団体	事業の名称	交付金額
1	一般社団法人日本高等学校ゴルフ連盟	平成 30 年度 全国高等学校ゴルフ連盟日本代表セミナー合宿	¥440,000
2	特定非営利活動法人日本視覚障害ゴルフアーズ協会	第 22 回全国視覚障害者ゴルフ競技会	¥370,000
3	日本小学生バドミントン連盟	平成 30 年度指導者講習会への講師派遣（巡回指導）事業	¥720,000
4	特定非営利活動法人新潟野球人	第 13 回 新潟地区学童軟式野球新人戦	¥250,000
5	認定特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・東京	知的障害者のためのフィギュアスケート事業	¥480,000
6	奈良県バドミントン協会	第 3 回ジュニア・バドミントン指導者へのサポート支援	¥125,000
7	公益財団法人日本ゴルフ協会	第 11 回 全国小学生ゴルフ大会	¥900,000
8	滋賀県高体連バドミントン専門部	リーダー養成合宿	¥350,000
9	公益財団法人いなぎグリーンウェルネス財団	第 1 回 障がい者スポーツ体験教室	¥265,000
10	一般社団法人 新潟県サッカー協会	第 16 回 新潟県キッズサッカー大会	¥700,000
11	特定非営利活動法人今治しまなみスポーツクラブ	今治ソフトテニスクリニック 2018	¥60,000
12	「夢はウインブルドンへ」実行委員会	第 4 回 グラスホパージュニアテニスキャンプ	¥350,000
13	愛媛ソフトテニス連盟	平成 30 年度 第 35 回全日本小学生ソフトテニス選手権大会	¥700,000
14	テニスフォーラム	テニスのコーチングを再考する！ —科学的知見に基づく効果的な指導アプローチに関する事業—	¥600,000
15	さっぽろばんけいスノーボードアカデミー	スノーボード競技者発掘育成 / 目指せ金メダル	¥750,000
16	特定非営利活動法人三ノ瀬総合型スポーツクラブ	平成 30 年度第 12 回キッズ、ジュニアテニス教室	¥88,000
17	宮城県高等学校体育連盟 本吉支部	2018 ヨネックスファイナルステージ in 気仙沼	¥180,000

18	関西テニス協会	関西地域のジュニア選手の育成・強化を目的としたサポート事業 －指導者と医科学、試合環境のサポートシステム構築を目指して－	¥500,000
19	一般社団法人日本学生サーフィン連盟	2018年度 春季 全日本学生サーフィン選手権大会	¥500,000
20	グローバルレーシングプロジェクト	第6期自転車アスリート海外育成事業	¥238,000
21	NPO e-Powers バドミントンクラブ	平成30年度 ジュニアバドミントン教室	¥459,000
22	特定非営利活動法人前沢いきいき スポーツクラブ	ソフトテニスフェスティバル及び震災支援交流会	¥168,000
23	特定非営利活動法人沼津市体育協会	第3回ぬまづ小学生フェンシング大会	¥400,000
24	公益財団法人日本スポーツ協会	第40回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	¥400,000
25	特定非営利活動法人ワン・フォー・オール	第8回 宇部ラグビーフェスタ	¥125,000
26	一般社団法人日本女子プロゴルフ協会	LPGAジュニアゴルフコーチ育成事業	¥900,000
27	特定非営利活動法人Emi Skate for Kids	子どもスケート教室	¥440,000
28	NPO 法人隼人錦江スポーツクラブ	平成30年度ソフトテニス教室及びクラブ杯大会	¥225,000
29	NPO 法人隼人錦江スポーツクラブ	トップアスリートから学ぶジュニアバドミントン スクール2018	¥110,000
30	第53回全国高等専門学校体育大会バ ドミントン競技実行委員会	第53回全国高等専門学校体育大会バドミントン競技 (第42回全日本高等専門学校バドミントン選手権大会)	¥425,000
31	長岡ロードレース大会実行委員会	長岡開府400周年 第44回長岡ロードレース大会	¥500,000
32	NPO 法人 YNU スポーツアカデミー	親子テニス教室4回、社会人テニス教室2回 計6回	¥245,000
33	東京医科歯科大学教養部	ジュニアスポーツ教室(水泳、ソフトテニス)	¥550,000
34	一般社団法人関東ゴルフ連盟	平成30年度「TEAM KGA ジュニア」前期活動	¥700,000
35	全日本中学生都道府県対抗11人制 ホッケー選手権大会実行委員会	全日本中学生都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会 実行委員会	¥300,000
36	キッズバドミントン東北・実行委員会	第5回キッズバドミントン東北2019	¥650,000
37	茨城県小学生バドミントン連盟	第3回関東ていがくねんオープン茨城	¥250,000
38	公益財団法人日本スポーツ協会	第16回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	¥300,000
39	一般社団法人日本障がい者 バドミントン連盟	第4回DAIHATSU日本障がい者バドミントン選手権大会	¥1,000,000
40	青森市バドミントン協会	第25回 中世の里ジュニアバドミントンオープン大会	¥400,000
41	公益財団法人全日本ボウリング協会	文部科学大臣杯 第25回全国高等学校対抗ボウリング 選手権大会	¥250,000

42	公益財団法人全日本ボウリング協会	文部科学大臣杯 第56回全日本大学ボウリング選手権大会	¥250,000
43	寺泊シーサイドマラソン大会実行委員会	第40回寺泊シーサイドマラソン大会	¥250,000
44	NPO法人 YNU スポーツアカデミー	親子テニス教室 2回(11月11日、3月17日) 社会人テニス教室 2回(10月21日、12月9日)の計4回	¥150,000
45	公益財団法人長岡京市体育協会	テニススクール(キッズ・小学生)(3期・4期)	¥180,000
46	陸前高田市ソフトテニス協会	中学生ソフトテニス教室 第41回岩手県下選抜高田インドアソフトテニス大会	¥200,000
47	特定非営利活動法人さくら総合スポーツクラブ	ジュニアソフトテニスフェスティバル in 安来	¥120,000
48	岩手県ソフトテニス連盟	がんばろう岩手 ソフトテニス復興支援事業	¥350,000
49	北海道バドミントン協会	北海道バドミントン協会 ジュニア強化事業	¥400,000
50	日本小学生バドミントン連盟	第27回全国小学生バドミントン選手権大会	¥1,000,000
51	特定非営利活動法人アルファバドミントンネットワーク	ソイタウンバドミントンキャンプ2018 -街場のバドミントン-	¥100,000
52	一般社団法人日本学生サーフィン連盟	2018年度 秋季 全日本学生サーフィン選手権大会	¥500,000
53	特定非営利活動法人スポーツコミュニティー軽井沢クラブ	カーリングエリートアカデミー	¥740,000
54	旭川地区バドミントン協会	第21回高校生バドミントンスプリングキャンプ	¥300,000
55	北海道テニス協会	北海道テニス協会 ジュニア強化委員会 ジュニア強化練習会、道外遠征および講習会	¥180,000
56	香川県中学校テニス連盟	第7回 全国選抜中学校テニス大会	¥1,000,000
57	一般社団法人オールアルビレックス	新潟版 スノーボード・エリートアカデミー	¥500,000
58	一般社団法人スキルチャレンジ	アイスホッケージュニアクラブカップ	¥150,000
59	一般社団法人SCDスポーツクラブ	岡崎慎司CUP	¥180,000
60	一般社団法人関東ゴルフ連盟	平成30年度 後期「TEAM KGA ジュニア」活動	¥300,000
61	特定非営利活動法人ビーンズプロジェクト	低年齢ジュニア育成組織整備事業Ⅱ	¥310,000
62	特定非営利活動法人ソフトテニスチャレンジジャパン	ソフトテニスチャレンジ2019 in 茨城	¥450,000
63	公益財団法人日本ソフトテニス連盟	全日本ソフトテニス若手強化選手のためのフィットネス(メディカルおよびコンディショニング)キャンプ	¥440,000
64	九州小学生バドミントン連盟	九州小学生各県対抗団体戦	¥500,000
65	全国選抜高校テニス大会実行委員会	第41回全国選抜高校テニス大会	¥800,000

合計 ¥26,713,000

※団体の名称は申請時のものです

なお、以下に助成占有 50%超過による差額分返金を記載いたします

*平成 29 年度助成事業分

気仙沼テニス協会 ¥120,000

*平成 30 年度助成事業分

寺泊シーサイドマラソン大会実行委員会 ¥160,000

全日本中学生都道府県対抗 11 人制ホッケー選手権大会実行委員会 ¥ 90,000

一般社団法人日本学生サーフィン連盟 ¥120,000

合計 ¥490,000

【表彰事業】

平成 30 年度米山稔賞の表彰は審査委員会において審査の結果、次のとおり決定いたしました。

氏 名	齋藤 亘 (さいとう わたる)
競 技	バドミントン
現 職	福島県バドミントン協会 福島県立ふたば未来学園中学校
功 績	平成 18 年に富岡第一中学校へ赴任しバドミントン部顧問となり、平成 30 年度第 48 回全国中学校バドミントン大会において、兼務する猪苗代中学校を史上初めて男女完全制覇の 6 冠に導きました。また、同大会での種目別優勝は累計 36 回を数え、その実績は顕著であります。2020 東京オリンピックでメダルの獲得が期待されている桃田賢斗・渡辺勇大・保木卓朗・小林優吾・東野有紗、当財団の奨学生であった大堀彩等、世界トップ選手を育成し続け、日本バドミントン界の競技力向上に多大な功績をあげました。

氏 名	前原 正浩 (まえはら まさひろ)
競 技	卓球
現 職	公益財団法人 日本卓球協会 副会長 公益財団法人 日本オリンピック委員会
功 績	平成 13 年に文部科学省の「スポーツ振興基本計画」に記載された競技団体の一貫育成プログラム策定委員長として、競技者育成・指導者養成の制度改革を行い、今日の若手選手の活躍につながる礎を築きました。その結果、当財団の奨学生であった水谷隼・森園政崇・丹羽孝希を始め、女子の石川佳純・伊藤美誠・平野美宇等、世界のトップ選手を育成するシステムが生まれ、平成 20 年から始まった JOC エリートアカデミーの創設にも深く関わり、日本卓球界の競技力向上に大きく貢献しました。

氏 名	武田 博子 (たけだ ひろこ)
競 技	ソフトテニス
現 職	東京女子体育大学・同短期大学 ソフトテニス部監督
功 績	永年にわたり東京女子体育大学ソフトテニス部の監督を務め、卒業生が全国の有力高校の指導者となるなど、女性指導者の先駆者として日本ソフトテニス界の振興に多大な功績を残しています。近年は当財団の奨学生であった林田リコ選手を指導し平成 30 年にインドネシア・パレンバンで開催した第 18 回アジア競技大会ソフトテニス女子団体において金メダル、ミックスダブルスで銅メダルの獲得や全日本選手権大会（皇后杯）女子ダブルス 2 連覇達成に導きました。また、全日本大学対抗選手権大会では同大学を平成 15 年度～平成 21 年度まで 7 連覇、平成 29 年度～平成 30 年度の 2 連覇に導く輝かしい戦績を上げたほか、海外指導経験も豊富で中華人民共和国・インドネシアナショナルチームのコーチも歴任いたしました。

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(30年度)	前年度(29年度)	増 減
I 資産の部			
1、流動資産			
現金・預金	16,563,148	16,562,887	261
定期預金	1,479,551	1,476,952	2,599
流動資産合計	18,042,699	18,039,839	2,860
2、固定資産			
①基本財産			
預金(日興証券)	762,359	762,359	0
定期預金	24,543,299	24,543,299	0
国債	8,855,342	8,855,342	0
外債	581,604,000	581,604,000	0
投資有価証券	4,038,000,000	3,534,000,000	504,000,000
基本財産合計	4,653,765,000	4,149,765,000	504,000,000
②特定資産			
助成事業積立資産	15,079,739	16,975,988	-1,896,249
特定資産合計	15,079,739	16,975,988	-1,896,249
固定資産合計	4,668,844,739	4,166,740,988	502,103,751
資産合計	4,686,887,438	4,184,780,827	502,106,611
II 負債の部			
1、流動負債			
預かり金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2、固定負債	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1、指定正味財産			
預金	20,405,397	22,301,646	-1,896,249
国債・外債	590,459,342	590,459,342	0
受贈投資有価証券	4,038,000,000	3,534,000,000	504,000,000
指定正味財産合計	4,648,864,739	4,146,760,988	502,103,751
(うち基本財産への充当額)	(4,633,785,000)	(4,129,785,000)	504,000,000
(うち特定資産への充当額)	(15,079,739)	(16,975,988)	-1,896,249
2、一般正味財産	38,022,699	38,019,839	2,860
(うち基本財産への充当額)	(19,980,000)	(19,980,000)	0
正味財産合計	4,686,887,438	4,184,780,827	502,106,611
負債及び正味財産合計	4,686,887,438	4,184,780,827	502,106,611

財産目録
平成31年3月31日現在

科 目	場所・物量等	使用目的	金 額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	手元現金	運転資金として	55,534
普通預金	北越銀行東京支店	"	16,507,614
定期預金	北越銀行東京支店	"	1,479,551
流動資産合計			18,042,699
2 固定資産			
(1)基本財産			
預金	日興証券預け金	公益目的保有財産であり運用益を助成事業の財源として使用している	762,359
定期預金	北越銀行東京支店	"	24,543,299
国債	第5回利付国債(40年)	"	8,855,342
外債	ゴールドマンサックスグループ	"	131,604,000
外債	ドイツ銀行コウロントゥンシテン	"	150,000,000
外債	ゴールドマンサックスインターナショナル	"	300,000,000
投資有価証券	ヨネックス株式600万株	"	4,038,000,000
(2)特定資産			
普通預金	北越銀行東京支店	運用益を助成事業等の財源として使用している。	15,079,739
固定資産合計			4,668,844,739
資産合計			4,686,887,438
負債合計			0
正味財産			4,686,887,438

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(30年度)	前年度(29年度)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1、経常損益増減の部			
(1) 経常収益			
①[基本財産運用益]			
受取利息・配当金	45,893,209	45,466,725	426,484
②[寄付金収入]			
受取寄付金	0	0	0
③[雑収入]			
受取利息	2,860	2,861	-1
経常収益計	45,896,069	45,469,586	426,483
(2) 経常費用			
①[事業費]			
助成金	26,223,000	27,495,500	-1,272,500
奨学金	12,240,000	10,200,000	2,040,000
表彰	4,138,150	4,404,706	-266,556
事業費計	42,601,150	42,100,206	500,944
②[管理費]			
給与手当	1,497,000	1,490,250	6,750
福利厚生費	40,800	10,000	30,800
会議費	377,643	380,494	-2,851
旅費交通費	728,536	666,550	61,986
通信費	136,859	174,134	-37,275
委託費	324,000	324,000	0
その他経費	187,221	321,091	-133,870
管理費計	3,292,059	3,366,519	-74,460
経常費用計	45,893,209	45,466,725	426,484
当期経常増加額	2,860	2,861	-1
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増加額	2,860	2,861	-1
一般正味財産期首残高	38,019,839	38,016,978	2,861
一般正味財産期末残高	38,022,699	38,019,839	2,860
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息・配当金	43,996,960	46,499,207	-2,502,247
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産へ振替-受取利息・配当金	-45,893,209	-45,466,725	-426,484
当期指定正味財産増加額	-1,896,249	1,032,482	-2,928,731
[基本財産評価益等]			
指定正味財産の投資有価証券評価益	504,000,000	-3,888,000,000	4,392,000,000
当期指定正味財産増減額	502,103,751	-3,886,967,518	4,389,071,269
指定正味財産期首残高	4,146,760,988	8,033,728,506	-3,886,967,518
指定正味財産期末残高	4,648,864,739	4,146,760,988	502,103,751
III 正味財産期末残高	4,686,887,438	4,184,780,827	502,106,611

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却減価(定額法)による。

関連会社株式は移動平均法に基づく原価法による。

その他の有価証券は時価のあるものは時価法(売却原価は移動法により算定)、時価のないものは移動平均法による原価法とする。

(2) 固定資産償却の方法は定額法による。

(3) 消費税の会計処理は税込み方式による。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少額	当期末残高
基本財産:				
預金(日興証券)	762,359	0	0	762,359
定期預金	24,543,299	0	0	24,543,299
国債	8,855,342	0	0	8,855,342
外債	581,604,000	0	0	581,604,000
投資有価証券(株式)	3,534,000,000	504,000,000	0	4,038,000,000
小計	4,149,765,000	504,000,000	0	4,653,765,000
特定資産:				
普通預金	16,975,988	0	1,896,249	15,079,739
小計	16,975,988	0	1,896,249	15,079,739
合計	4,166,740,988	504,000,000	1,896,249	4,668,844,739

3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産:				
預金(日興証券)	762,359	(762,359)		
定期預金	24,543,299	(4,563,299)	(19,980,000)	0
外債・国債	590,459,342	(590,459,342)	0	0
投資有価証券株式	4,038,000,000	(4,038,000,000)	0	0
小計	4,653,765,000	(4,633,785,000)	(19,980,000)	0
特定資産:				
普通預金	15,079,739	(15,079,739)	0	0
小計	15,079,739	(15,079,739)	0	0
合計	4,668,844,739	(4,648,864,739)	(19,980,000)	0

4、満期保有目的の債券及び有価証券の内容及び帳簿価額、時価、評価損益

満期保有目的の債券及び投資有価証券の内容及び帳簿価額、時価、評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
国債—第5回利付き国債(40年)	8,855,342	12,409,800	3,554,458
合計	8,855,342	12,409,800	3,554,458

5、指定正味財産から一般正味財産への振替額の振替額

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
外債・国債受取利息	45,893,209
合計	45,893,209

付属明細書

1、基本財産特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載しているため記載を省略する。

2、引当金の明細

該当なし。

正味財産増減計算書：内訳書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益法人会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1、経常損益増減の部			
(1) 経常収益			
①[基本財産運用益]			
受取利息・配当金	42,601,150	3,292,059	45,893,209
②[雑収入]			
受取利息		2,860	2,860
経常収益計	42,601,150	3,294,919	45,896,069
(2) 経常費用			
①[事業費]			
助成金	26,223,000		26,223,000
奨学金	12,240,000		12,240,000
表彰	4,138,150		4,138,150
事業費計	42,601,150		42,601,150
②[管理費]			
給与手当		1,497,000	1,497,000
福利厚生費		40,800	40,800
会議費		377,643	377,643
旅費交通費		728,536	728,536
通信費		136,859	136,859
委託費		324,000	324,000
その他経費		187,221	187,221
管理費計		3,292,059	3,292,059
経常費用計	42,601,150	3,292,059	45,893,209
当期経常増加額	0	2,860	2,860
2、経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増加額	0	2,860	2,860
一般正味財産期首残高	30,034,328	7,985,511	38,019,839
一般正味財産期末残高	30,034,328	7,988,371	38,022,699
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息・配当金	42,601,150	1,395,810	43,996,960
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産へ振替-受取利息・配当金	-42,601,150	-3,292,059	-45,893,209
当期指定正味財産増加額	0	-1,896,249	-1,896,249
[基本財産評価益等]			
外債の売却による減少額	0	0	0
指定正味財産の投資有価証券評価益	413,784,000	90,216,000	504,000,000
当期指定正味財産増減額	413,784,000	88,319,751	502,103,751
指定正味財産期首残高	3,392,088,049	754,672,939	4,146,760,988
指定正味財産期末残高	3,805,872,049	842,992,690	4,648,864,739
III 正味財産期末残高	3,835,906,377	850,981,061	4,686,887,438